

トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 1

RETURN TO | リターン・トゥ

2016年4月16日(土)～5月29日(日)

トーキョーワンダーサイト本郷

— 世界の街を舞台に滞在制作を行った、国内外のクリエイターたちによる成果発表展

トーキョーワンダーサイト(TWS)では、2006年よりレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を開始し、東京や海外の派遣先を舞台に、アート、映像、音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエイターたちへ滞在制作の機会を提供しています。本シリーズでは10月まで3会期を通して、レジデンス・プログラムの成果と、これからのアートセンターが担う役割を包括的に紹介していきます。第1期となる本展では、2015年度にアジア、ヨーロッパの各都市で滞在制作を行った4組の日本人クリエイターによる成果作品を展示します。

■ 展覧会概要

展覧会名: トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 1

リターン・トゥ (英語タイトル: TWS Creator-in-Residence 2015-2016 RETURN TO)

会期: 2016年4月16日(土)～5月29日(日)

会場: トーキョーワンダーサイト本郷 (東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間: 11:00～19:00 (最終入場は30分前まで)

休館日: 月曜日

入場料: 無料

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

クリエイター: キュンチョメ、地主麻衣子、谷中佑輔、花崎 草

提携都市/機関: ベルリン市/クンストラウム・クロイツベルク/ベタニエン(ドイツ・ベルリン)、アーツ・イン・レジデンス台北/トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ(台湾・台北)、マタデッロ・マドリッド(スペイン・マドリッド)

ウェブサイト: <http://www.tokyo-ws.org>

■ オープニング・トーク

日時: 4月16日(土)15:00～17:00

参加クリエイター: キュンチョメ、地主麻衣子、谷中佑輔、花崎 草

※参加クリエイターは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

会場: トーキョーワンダーサイト本郷



Kunstraum Kreuzberg/Bethanien



TAIPEI ARTIST VILLAGE | TREASURE HILL
台北國際藝術村 | 寶藏巖

<お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当: 市川、藤井

TEL: 03-5602-9881 / FAX: 03-5602-9882 E-mail: press@tokyo-ws.org

■ 展覧会について

本展では、2015年度TWSの二国間交流事業プログラムに参加した4組を紹介します。個人的な物語の創作を行う**地主麻衣子**は、自身の憧れでもあるスペイン語圏の小説家ロベルト・ボラーニョがかつて滞在していたマドリードの街を舞台に、彼の痕跡を追う映像インスタレーションを発表します。**谷中佑輔**は、ベルリンの公園で行ったパフォーマンス彫刻作品を東京でも再現し、公共空間における身体と彫刻の関係性を追求します。シリア難民問題が起こり、ドイツがその受け入れを率先して行っていた時期にベルリンに滞在していた**キュンチョメ**は、シリア難民と協働した映像インスタレーションを展示します。**花崎草**は、台北の3つの村で村人に彼らの思う「宝」についてインタビューを敢行し、映像作品として発表します。

滞在した時期や都市がそれぞれ異なる彼らが、日々言葉や文化の壁に直面しながらも、自身の表現を通して得た経験はどれも替え難いものに違いありません。今回の展覧会では、現地で発表した作品もTWS本郷の展示空間に合わせて構成されます。帰国後にさらなる磨きをかけて表現される、彼らの見てきた世界をご体感ください。

■ クリエータープロフィール

■ キュンチョメ | Kyunchome (二国間交流事業プログラム<ベルリン>、2015年10月~2016年1月滞在)

ホンマエリとナブチによる男女ユニット。2011年結成。震災、原発事故、自殺、難民問題などが起こるシリアスな現場に詩的な行動やユーモアで切り込むことで「生きる事と逃げる事」に関わる作品を制作している。近年の主な展覧会に「もう一度太陽の下で生まれたい」(岡本太郎記念館、東京、2015)、「なにかにつながっている」(新宿眼科画廊、東京、2014)、「ここではないどこか」(ナオナカムラ、東京、2013)など。受賞歴に、第17回岡本太郎現代芸術賞(2014)。

■ 地主麻衣子 | Maiko Jinushi (二国間交流事業プログラム<マドリード>、2015年10月~11月滞在)

1984年生まれ。2010年に多摩美術大学美術研究科絵画専攻を修了。個人的な物語をテーマとしたドローイングや小説の制作から発展し、映像、インスタレーション、パフォーマンスなどを総合的に組み合わせた「新しい種類の文学」を創作する。近年の主な展覧会に個展「おおきな口、ちいさな手 もしくは ちいさな口、おおきな手」(Art Center Ongoing、東京、2015)、グループ展「仮想のコミュニティ・アジアー黄金町バザール 2014」(黄金町エリア、神奈川、2014)、「わたしの穴美術の穴」(スペース 23°C、東京、2015)、「父と母」(TALION GALLERY、東京、2014)、パフォーマンス「馬が近づいてくる音」(blanClass、神奈川、2014)など。

■ 谷中佑輔 | Yusuke Taninaka (二国間交流事業プログラム<ベルリン>、2015年7月~9月滞在)

1988年生まれ。2014年に京都市立芸術大学大学院を修了。作品を「作る」工程と、それをういて行うパフォーマンスに伴う「鑑賞体験」そのものを、パフォーマンス的な要素を包括する表現活動として取り入れ、生身の身体を表現することを試みている。近年の主な展覧会に「クロニクル、クロニクル！」(CCO クリエイティブセンター大阪、大阪、2016)、「躲(かわ)す」(CAS、大阪、2015)、「京芸 Transmit Program #6 still moving」(元・崇仁小学校/崇仁地域周辺、京都、2015)など。平成28年度京都市芸術文化特別奨励者(2016)。

■ 花崎 草 | Kaya Hanasaki (二国間交流事業プログラム<台北>、2015年9月~12月滞在)

1987年生まれ。2012年に東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修士課程を修了。生活環境や社会的なシステムによって築かれた価値観をほぐし、その価値観の揺らぎをもって実生活への展望を想起しあえるような作品制作を目指し、パフォーマンス・アートを中心に活動。近年の主な活動にパフォーマンス「蚊帳の外」(台北市美術館、台湾、2015)、「Woman Path」(M.F.フセインアートギャラリー、インド、2014)、「Phototaxis Effect」(ハッチスペース、イギリス、2014)、個展「My Home, Our Treasure」(トレジャーヒル・アーティスト・ビレッジ、台湾、2015)、「Art Action in UK」(素人の乱12号店、東京、2012)など。

広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

1



地主麻衣子
《遠いデュエット》2016
映像インスタレーション

2



地主麻衣子
《遠いデュエット》2016
映像インスタレーション

3



谷中佑輔
《In/Flesh/Out》2015
ミクストメディアインスタレーション/
パフォーマンス
©近藤愛助

4



谷中佑輔
《In/Flesh/Out》2015
ミクストメディアインスタレーション/
パフォーマンス
©近藤愛助

5



花崎 草
《My Home Our Treasure》2015
映像

6



花崎 草
《玉蘭 一路上の花売り》2015
玉蘭花、シャンデリア、ワイヤー、ビーズ 他

7



キュンチョメ
《笑顔をつくるジレンマ》2015
映像インスタレーション

【次回予告】 トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 2 | 2016年6月11日(土)~7月31日(日)
トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 3 | 2016年8月20日(土)~10月2日(日)

Fax 送信番号 **03-5602-9882**

トーキョーワンダーサイト広報担当宛

掲載用素材として、画像を申込します。(該当欄の□にチェックを入れてください)

「トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 1 リターン・トゥ」
広報用画像データ請求画像申込書

1 2 3 4 5 6 7

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を1~2日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web での掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当：市川、藤井

TEL: 03-5602-9881 / FAX: 03-5602-9882 / E-mail: press@tokyo-ws.org